

【肌再生で注目される EGF 様作用を確認】

EGF様受容体を持つヒト上皮様細胞を用いて、サケ鼻軟骨よりアルカリ抽出されたプロテオグリカン(検体A)の肌再生機能を検証した結果、EGF様作用により濃度依存的に優位な細胞増殖作用があることが、鈴鹿医療科学大学の研究により認められました。

EGF(Epidermal Growth Factor)は、たんぱく質の一種で、肌表面の受容体と結びつくことによって人が本来持っている細胞の再生を促す重要な役割があり、唾液や母乳にも含まれている物質です。

アメリカの生物学者スタンレー・コーエン博士により発見され、博士はEGFの配列識別とその機能のパイオニアとして、1986年にノーベル医学生理学賞を受賞し注目を集めました。EGFは20代後半以降、急激に減少していくため細胞の再生が遅くなり肌は老化していきます。急激に減少してしまうEGFの働きを補うことができれば、肌の再生を促し、老化を予防することが可能です。

